

SJI社の子会社化に 関する補足資料2

2015年6月19日



NCXX

*Copyright (c) 2013 by NCXX
No part of this publication may be reproduced,
stored in retrieval system, or transmitted in any
means --- electronic, mechanical, photocopying,
recording and otherwise --- without permission of
the NCXX. This document provides an outline of a
presentation and is incomplete without
accompanying oral commentary and discussion.*

本資料について

本資料は、平成27年6月1日開示の「株式会社SJIとの資本業務提携契約の締結及び第三者割当増資、新株予約権の引受による子会社化及び借入金に関するお知らせ」について、当社のSJI子会社化に対する戦略的な意図を補足説明する目的で作成されたものです。

なお、当社によるSJI社の子会社化につきましては、同社が平成27年6月29日の開催を予定する株主総会において特別決議を得られることが停止条件になっております。

SJI社株式投資による含み益

当社はSJI社への投資時点で約38億円の含み益が発生する予定です

	増資前	増資後 (ネクスグループ参画後)
収益性		
売上高	303億円	109億円
国内	83億円	109億円
海外	220億円	0円
営業利益 (率)	3億円 (1%)	12億円 (9%)
当期純利益	▲28億円	+
一株当たり利益	▲35円	+
財務体質		
純資産	▲62億円	27億円
一株当たり純資産	▲75円	8円
有利子負債	99億円	50億円

**その他
リスク要因**

- 債務超過による上場廃止リスク
- 海外子会社取引の不透明性や低い収益性

解消

大手Sierとの国内取引のみに高収益性体質へ

- 増資前は、一株当たり利益がマイナスかつ一株当たり純資産もマイナスであり、債務超過による上場廃止のリスクも存在。また海外関連の不透明性や低い収益が課題だった。
- 増資後は、一株当たり利益がプラスかつ一株当たり純資産もプラスであり、債務超過も解消し上場は維持。収益性が大幅に向上する。

ネクスグループは引受価格35円/株、新株予約権を含めた総引受総数は約184百万株であるため、約38億円の含み益(株価を56円と仮定)を保有する

注: 増資前株価は増資決議の前日の終値(平成27年6月1日)、増資後株価は平成27年6月18日の終値。増資前の売上高などは平成27年3月期の短信より。増資後の売上高などは平成27年6月1日開示の「SJI社の子会社化に関する補足資料」

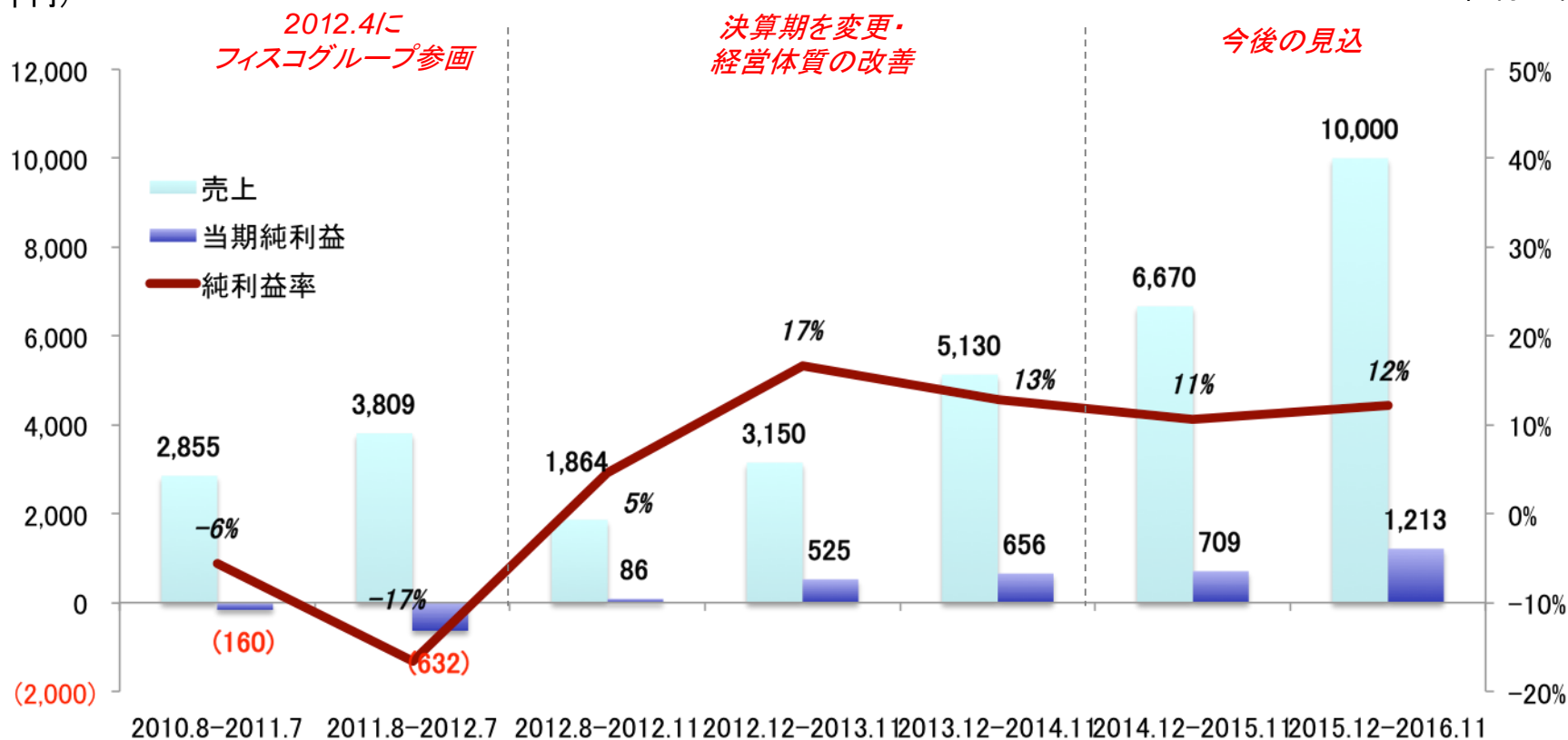
事例：当社自身のターンアラウンド

親会社フィスコの持つ高いPMI実行力を背景に、当社自身も大幅な固定費の削減と事業ポートフォリオを改善し、赤字体質を脱却して黒字化を実現しました

NCXXの業績推移・見込

売上・純利益
(千円)

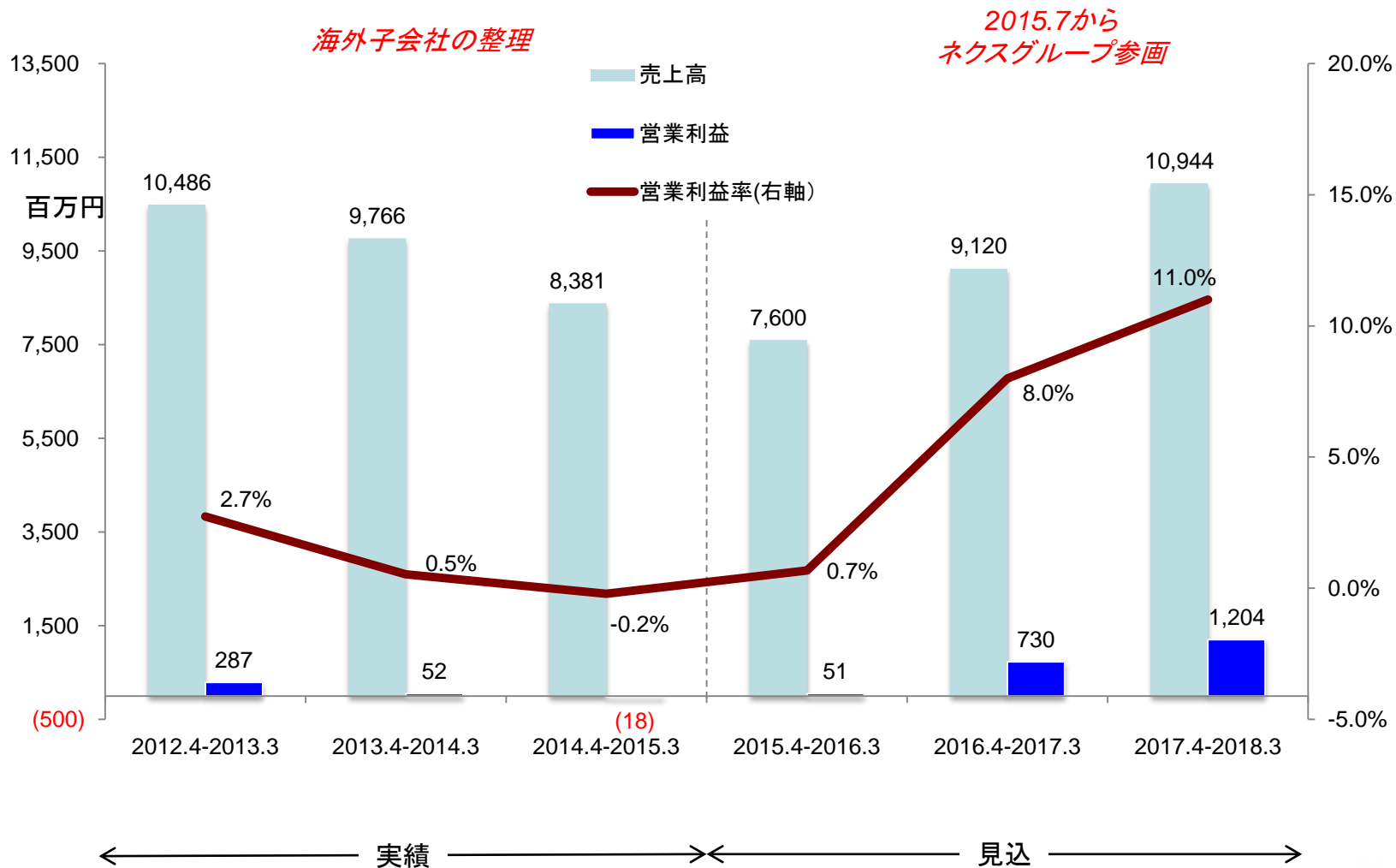
純利益率



← 実績 → ← 見込 →

SJI社の収益(予定)

各施策を実行してSJI社の収益力を高めることで、SJI社単体での収益化を実現するとともに、当社グループの経営基盤強化および企業価値増大を目指してまいります



※ 見込については現時点での当社の試算であり、SJI社自身の発表する各種数値との整合を担保するものではありません